

オリパラ便り



平成30年11月7日(水)
第4号

<1年生 ボッチャ体験学習>

10月23日(火)に1年生を対象に『ボッチャ』の体験学習が行われました。講師として、ロンドンパラリンピックボッチャ代表選手の秋元妙美さんと同ヘッドコーチの渡辺美佐子さんをお招きしました。

ボッチャとは、重度脳性麻痺患者などを対象に考案されたスポーツで、パラリンピックの正式種目です。ボールを投げたり転がしたりして、いかに目標球に近付けるかを競います。ボールを投げることができなくても、勾配具を使い、自分の意思を介助者に伝えることができれば参加することができます。

秋元さんはパラリンピック出場を目指して13年間努力を続けてきました。その経験から、自分だからできることを精一杯やることや、マイナスはプラスに変えられることを力強く伝えてくれました。

秋元選手の言葉より

「まわり道でも、進んでいけば何かある。勇気をもって、自分らしくあることが大切です。そして、その中で助けてくれる人に、「ありがとう」の気持ちを伝えていきましょう。」

2時間目からは各クラスごとにボッチャ体験を行いました。クラス対抗で競い合い、大変盛り上がりました。1年E組では、復籍交流として大泉特別支援学校の女子生徒と一緒に参加しました。本校の学区内に住む同級生です。最初は緊張が見られましたがE組生徒の声かけなどもあり、徐々に笑顔が見られました。ボッチャは運動の得意な生徒も苦手な生徒もみんなが一緒に楽しめるスポーツでした。今日の交流を通して、障がいへの理解、心のバリアフリーにつなげてほしいと思います。



<2年生校外学習 TOKYO GLOBAL GATEWAY>

オリンピック・パラリンピック教育の大きな柱の一つに『豊かな国際感覚の育成』というものがあります。2年生は校外学習で、江東区青海のTOKYO GLOBAL GATEWAY (TGG)を訪れました。TGGとは新しいタイプの体験型英語学習施設で、英語が飛び交う非日常な空間でイングリッシュ・スピーカーとのやりとりやさまざまなプログラムを通じて、「わかった」「通じた」という英語コミュニケーションの成功体験が得られる施設になっています。生徒たちは空港や病院などでの擬似体験や、チームビルディング(自己紹介、簡単なゲームやジェスチャーゲームなどをしてチームワークを高める)を行いましたこの体験を通して、英語を話す喜びを知り、日々の英語学習の意欲もさらに高まるといいですね。

